

# 生活技術

使用教科書	単位数	学年・学級・学科・選択名等
・新生活技術（6 教図 家庭049） ・ニュービジュアル家庭科2012（実教出版）	2	2年1、2組

## 1 学習の到達目標

学習の到達目標	学習の到達目標
	少子高齢社会や福祉に目を向け、住生活や衣生活に関する基礎的な知識と技術を学び、自己の現在、及び将来の生活に生かそうとする態度を養い、現代における問題を社会的視点に立って解決できるようにする。

## 2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法			
					①	②	③	④				
前期		4 オリエンテーション	1	・本科目での学習内容の説明、授業の進め方、受講する上での注意事項などを理解する。	○				提出物			
		第2章 暮らしのなかの「衣」 ①衣生活を考えよう	2	・起源や歴史的に衣服の役割を知り、適切な着装や自己表現について考える。	○	○			ノート ワークシート			
			②衣服の材料を知ろう	2	・衣服材料の種類や取り扱い上の特徴を理解する。 2・糸や布の仕組みについて体験を通して理解する。 1・衣服材料の性能や加工について理解する。	○	○	○		ワークシート 実験実習 ワークシート		
		5 ③衣服の選択と手入れ	2	・既製服の表示を理解する。 2・衣服の適切な手入れや保管方法を知り、基礎的な技術を身につける。	○		○		ワークシート 実験実習			
		6	前期中間考査						○	定期考査		
		④衣服を作ろう	1	・平面構成と立体構成の特徴を知り、どのような衣服があるか考える。 1・採寸部位と方法を知り、採寸方法を身につける。 1・衣服製作に必要な準備や手順を理解し、製作の計画を立てる。 7・基本的な縫製技術を身につけ、製作を行う。	○	○		○		ワークシート 実験実習 ワークシート 実験実習 作品		
			7 ⑤これからの衣生活と環境	1	・衣生活が環境問題に関わっていることを理解する。 1・健康で快適な衣生活について考える。	○			○	ワークシート ノート ワークシート		
				8 第3章 高齢者とともに ①高齢者について考えよう	2	・加齢に伴う心身の変化と特徴を知る。 2・高齢者の生活の現状と課題について考える。			○	○	ワークシート 実験実習 ワークシート 発言、発表	
		9 ②高齢社会と高齢者の福祉を考えよう	3	・高齢社会の現状と課題について考え、福祉サービスの重要性を理解する。		○		○		ワークシート ノート		
		第4章 人のつながりと福祉 ①私たちの暮らしと社会福祉	3	・日本の社会保障制度と課題を知る。		○		○		ノート ワークシート		
		前期期末考査							○	定期考査		
		10	第2章 子どもとともに ①子どものすこやかな育ちを知ろう	1	・ライフステージの中で、「育てられる」から「育てる」立場の変化を認識する。 1・子どもの発育・発達の決まった方向性や順序性と個人差について理解する。 2・新生児の独特の特徴を理解する。 1・乳幼児のからだの成長に関する大きな特徴を理解する。 1・妊娠、出産について考える。 1・乳幼児のこころの成長とそれに対する大人の関わり的重要性を理解させる。		○		○		事例研究 発言、発表 ワークシート 実験実習 ノート ワークシート 事例研究	
				②子どもの暮らしと親のかかわり	1	・「育てる」側に必要な視点と親の役割を考え、知識を身につける。		○		○		ワークシート ノート

後期	11		1・子どもの成長段階に応じた家庭教育のテーマと親の役割について考える。				○		ワークシート ノート			
			3・子どもの食生活・衣生活について親の立場から必要な知識を得るとともに具体的事例を身につける。				○	○	○	実験実習 ワークシート		
			1・遊びが子どもに与える影響と意義について理解する。				○		○	○	実験実習 ワークシート	
			1・子どもの病気と事故についての正しい知識と対処方法を理解する。						○	○	ノート ワークシート	
			1・集団保育の意義を理解するとともに、子どもにとって望ましい環境とは何かを考える。						○	○	ノート ワークシート	
			1・子どもをもつ家庭の親が抱える問題について考える。						○		ワークシート 発言、発表	
		③子どもの福祉を考えよう	5	・子どもは守られるべき存在であることを理解し、子どもに関わる法律や条約、育つ環境について考える。				○		○	ワークシート ノート レポート	
	12	後期中間考査								○	定期考査	
		第3章 暮らしのなかの「住」										
		①住まいについて考えよう	1	・住居の役割を知り、気候風土や地域性による住居の違いを知る。				○			○	ノート ワークシート
		②快適な住まいについて考えよう	2	・安全や衛生など快適な住まいの条件や問題点を考える。				○	○			ワークシート 発言、発表
		③平面計画をしてみよう	2	・人の生活行為やライフスタイルに適した住空間について考える。				○	○			ノート ワークシート
		④住空間を演出しよう	4	・平面図や記号を読み取る力を身につけ、平面図を作成する。				○		○		○
		⑤これからの住生活を考えよう (ホームプロジェクト学習)	3	・インテリアデザインをテーマにプロジェクト活動に取り組み、自らの住生活の改善を目指す。				○	○	○	○	計画・記録表 実践発表
		後期期末考査								○	定期考査	

### 3 評価等について

項目	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③技能・表現	④知識・理解
内容	より良い生活を目指し、積極的に授業に取り組むことができるか。また、家庭や地域での生活に関心を持ち、現在や将来の生活に必要な知識と技術を習得しようとしているか。	衣生活や住生活を見直し、高齢者や子どもを取り巻く環境に目を向け、これらの課題を見つけ、解決を目指して自ら考え、判断し、工夫してより良い生活を創造する力を身につけているか。	地域社会での自立した生活を送るために必要な、基礎的・基本的な技術を身につけることができたか。被服製作や住まいの平面図作成に積極的に取り組めたか。	家庭・地域生活の意義や役割を理解し、豊かな生活を送るために必要な基礎的・基本的な知識を身につけることができたか。
割合	10%	10%	30%	50%

### 4 履修にあたっての注意事項

- 授業道具の点検は毎時間行います。また、ノートは学習した時間内で整理してください（関心・意欲・態度）。
- 定期考査とは別に実技試験を行います（技能・表現）。
- 移動教室へは遅刻しないようにしてください。
- 忘れ物をしないようにし、提出物の期日を守ってください。
- 作品は時間内に完成できない場合、残って作業してもらうこともあります。

#### 評価について

評価	評価点
10	100 ~ 93
9	92 ~ 85
8	84 ~ 77
7	76 ~ 70
6	69 ~ 61
5	60 ~ 53
4	52 ~ 45
3	44 ~ 38
2	37 ~ 30
1	29 ~ 0

#### 学年末評定について

評価	評価点
5	100 ~ 85
4	84 ~ 70
3	69 ~ 45
2	44 ~ 30
1	29 ~ 0